

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（69）」

2. 日時：令和5年7月7日（金）10時05分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

志間安全規制管理官、菅生主任安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全
審査専門職、森田安全審査専門職、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田副主任技術研究調査官、入江技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1 東海発電所L3埋設施設の審査の対応スケジュール（案）

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する
第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	統計職規制庁の大嶋でございます。
0:00:05	本日ですね、日本原子力発電株式会社から申請のありました、低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリングの方を行いたいと思います。
0:00:19	本日の掘り起こししておりますので、発言される際にはですね、所属とお名前をお願いいたします。
0:00:27	まず出席者の紹介ですけれども、規制庁の方から研究炉等審査部門様に、広島スゴウウエノ。
0:00:37	オオツカ、オオシマ、それから放射性廃棄物研究部門より、守田山田は出席しております。当日本原子力発電株式会社さんの方からも、出席者の紹介をいただければと思います。
0:00:54	はい日本現象関西のハママツです。弊社の出席者ですけれども、今回、対面とWEBの二つで分けております。海外の出席者ですけれども、廃止措置プロジェクト推進室からノグチコアシハママツの3名です。
0:01:11	WEBの出席者になりますけれども、同じく廃止措置プロジェクト推進室から、イマツホウチンノムラタケゴシマシモサクマ。
0:01:22	あと開発計画室からフジワラの計7名、合計10名の参加になります。以上です。
0:01:28	規制庁嶋です。はい、ありがとうございます。それでは本日ですけれども、前回5月30日にヒアリングを行わせていただいて、
0:01:38	申請の中身についていろいろコメントをさせていただいたところでして、今のコメントに対して、資料の準備等を進めていただいているところではあるんですけれども、少し時間が空いてしまっているという点がありますので、その作成状況等々についてですね、日本原子力発電、
0:01:56	さんの方から説明をいただきたいという点と、あわせてですねちょっと規制庁の方からもお伝えしたい点がありますので、それ。
0:02:06	持ってですねお伝えさせていただきたいと思いますので、また資料の作成状況の方からご説明の方お願いできればと思います。
0:02:16	これ日本原子力発電のコアシです。本日お時間いただきましてありがとうございます。また5月30日に受けましたヒアリングを踏まえて、我々の対応状況が少し遅れているところ大変申し訳なく思っております、
0:02:28	それは今回、状況を報告して欲しいということがありましたので急遽ですが少し資料を準備させていただきました。それについて今から協議させていただきます。
0:03:08	きました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:15	猿樂専務理事に向けましたコメントを踏まえまして我々の経緯の資料におきましては、大変申し訳なく思っております。ちょっと状況を申しますと、
0:03:25	どの施設設計に関する議論で、我々テーマを三つに分けて、今説明を考えております。一つを、施設設計、これはEPAの比較に対してどうかというところ。
0:03:36	二つ目のテーマとしては、低透水性覆土も、現地施工元実現性のところの説明、あと三つ目は浸透流開示というところで、これ
0:03:46	応募に向けまして、こういった三つのテーマに分けてそれぞれコメントを受けております。で、
0:03:51	特に今、9-1に分類している施設設計のところ、合意時に、
0:03:58	覆土をIP残して公開しないのかというところが非常に懸念されていたかと思えます。そこについては、我々もう少し今ですと、掘削抵抗性差のところは、
0:04:10	大綱を入れて本長期の安定性を踏まえるとそうした方がいいだろうという考えでいたんですが、ここ短期的なそういった豪雨に耐えられるように、少し直したいということを考えております。すいません。次のスライド。
0:04:25	続きまして、イメージ、イメージ図になりますが、
0:04:28	我々の考えてる掘削抵抗性層は上からの、ほぼ相当の理由を防止するため、流暢採石というのを設ける、或いは、1 碎石の間には砂またさ室を入れてベントナイトの輸出を 5000 円。こういった、
0:04:42	排水をもつても見せました。ただ、
0:04:46	ここは今申しましたように、少し豪雨時の短期的な
0:04:50	局所的な雨量に対しても十分対応利用が排水性能を持たせたいと思ひまして、EPAも記載等を参考にしまして、ここまですと砂を詰めた状態で10のマイナス3乗の透水係数が、
0:05:04	あったんですが、それ以上も調整係数を取りたいと思ひてます。で、具体的にはです。すね砂を常に管理碎石で、少し粒径の小さなものを用いて、
0:05:15	施工すると、ここは30センチを持ち、そうするとすね、直詰め内部の状態ですので、安定性を確保するためにこれEPAにも書かれてるんですが、上と。
0:05:26	植山常務フィルターを流暢採石で、フィルターとパイピングに基づいて設置する必要があります。これを合わせてもすね、十分な厚さが必要と思ひてまして。
0:05:36	まずそういった見直しをしようと思ひています。下部についても、今年度ガイドの流出ということ、数集めない状態ですと、非常に流速が速くなる懸念がございますので、ここの理事長碎石を用いた系統の充実ということを考えてございます。
0:05:49	こういった設計の見直しをすることによって、今日法人のを排水するというのを強化したいというふうに考えておりますので、
0:05:58	そうしますと少しスケジュールの方に戻ります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:03	特に何かそれを見直していく中で、まずあの方通知受けたコメントで回答できるところは今準備をしております、今月中には整えたものQMSの確認、品質管理の確認をしっかりと行って、
0:06:15	8月上旬には提出したいというふうに思ってます。ただこの設計の見直しのところが少しこの後になりまして、ここの調整が今
0:06:26	つかない状態で少し待つて欲しいということを言っておりました。今ですと、
0:06:30	この10月以降で、
0:06:33	工事を踏まえた施設の設計を示して、浸透流解析もこれあの、
0:06:39	査定後清掃に排水の請求を強化して、発生を決めて、透水係数を決めるためには拠出して、校正試験をして、ちゃんと今の我々の浸透水量等、
0:06:51	この設計があるものに説明をしたいと思っておりますので、ここも少し、そのあと遅れるというところで、今明確な時期というのは示せていないんですが、少しこういった段階を踏んで、今のテーマ1からテーマ3も、
0:07:03	コメントに対しては対応していきたいと考えております。で、ここの部分はですね、埋設地の状態設定或いはそれ以外のところっていうのも入っていけないのかなと思っておりましてそのあと全部違う進めたいというのが、
0:07:15	流れで考えてございます。ちょっと
0:07:18	公衆給付先週から教育を準備させていただきましてはまだ国内でしかご説明できないということで、大変申し訳ありませんが、今の現状としては防ぎ状況となっております。ご兄弟現況。
0:07:30	そういうことになります。説明は以上になります。
0:07:34	局長、青島です。
0:07:36	ご説明ありがとうございました。ただいまの説明等々に関しまして規制庁の方から、確認事項等ありましたらお願いいたします。
0:07:51	さっき言った、規制庁の大蔵でございます。簡単に確認なんですけれども、2ページ目の図の筐体ページのところにはうちありますけども。
0:08:00	所層がこの辺の中では大分薄くなってるようなイメージなんです但实际上に薄くするということになりますか。
0:08:09	はい。10月の構成です。今上部ビルとかフィートの厚さをどのぐらいにするかというのを今検討してまして、それに応じてここは薄くなる。
0:08:20	ことになります。規制庁の津田でございます。ありがとうございます。そうしますとイメージとしては0.75メートルは変えずに、ほぼ相当ちょうどフィルターとかぶりのこの三つの町でこのもとの0.75メートル分を確保するっていう、
0:08:37	設計変更するということです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:40	吉岡総務課長、須永そういった形を目指したいと思います。はい、わかりました。ありがとうございます。
0:08:50	山森板谷といいますかね、なんですけど全体的な監査を変えないというところで、基本的な考え方として経営者だったりとかそういう一番高いところの部分であったりとか、そういう全体的に経常的なところは、基本的には変更はなく、その中にも
0:09:08	何かそう。それだけっていうところは、少し変則ページでよろしいですか。宮部小学校の校舎です。そうですね。おっしゃる通りで大枠の形は変えないまでの、傾斜も変えませんので。
0:09:21	仲野層のところの調整を少し、アクサ東京推計すると、材質資料で変えるということにします。わかりました。ありがとうございます。
0:09:36	所長の今田でございます。
0:09:41	あるんですけども、ホーム柵のところ、変えないということです。
0:09:48	宮城庄田さんの話です。このところ、ここ 13 病院で、品川瀬田さ湿度の現地発制度を使うのかというところは考えております。
0:09:58	若山委員。はい。
0:10:01	巨艦
0:10:04	進捗の問題が浸透流解析の問題とかよろしくしておりました。
0:10:09	その次のところは、一つは、
0:10:13	帯水層上下のところでの侵食の問題、こういったところ、
0:10:18	軍事機それから試験を含めてご検討するっていうことですので、よろしく願いをいたします。それともう一つは、排水がきちんとできるかどうかによって斜面の安定性が効いてきますので、
0:10:35	特に小牧津金 30 度、29 番のところ、その他の安定性の病院があまり時間もありませんので、
0:10:46	たくさん削減ができるなと。
0:10:49	訂正が一応、
0:10:53	そういうふうになりかねないですね。
0:10:56	も含めて、よくご検討いただければと思います。
0:11:00	125 年のプロセスご指摘の通りでございまして、この排水制度も強化したところですけども、仮にこのデザインに改正しても、あまりの、
0:11:09	特に救済の高いところは全体の水が集まることですので、それでも飽和した状態での評価というのも考えなければならぬと思っております。そこは排水性の部分、結果と合わせて担保を進めていきたいと思っております。
0:11:30	島です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	山田さん、お聞きしたいんですけど、
0:11:42	今回、新しい
0:11:45	排水槽を作るか。
0:11:47	ときの、
0:11:51	排水性の、
0:11:52	がどうであれば、その系統水道層とその上の、ことと相関守ります。
0:12:03	ことが、
0:12:06	いようになる基準みたいなのってあるんですか。多分そこにそこに達成しないと。
0:12:14	何ていうんですか。幾らやっても、実証できないようなところにはなると思うんですけど。
0:12:20	提言書は住吉ですそこにつきましては、まず排水栓を強化した時にどれぐらいの透水係数になるかを始めれば、そこでの計算の大体配水量というのを計算できる。勾配等の実験、
0:12:32	これはですねこの 30 隻の粒径に応じて、あとウエノ保護の総合土の粒径に応じて、パイピング速という規則に基づいて、流調を行いまして、その仕様のもを使えば、以上、業務実績、経験上、
0:12:48	北尾安永内野よりは、下からの流出がないというふうな施工ができることにはなってますので、そういった手順で進める考えでございます。
0:12:58	この考え方をちょっと。
0:13:01	そしてですね
0:13:04	特別新しい技術を開発するという話ではなくて、実績が 2.6 には、
0:13:13	善通寺の承認覆土であるとかそれから、この駄目だとかそういうところであるお話ですので、その経験をこの設計適用をして、
0:13:24	煩雑条件っていうのを、十分な条件っていうのをつくればいいってことだと思います。わかりました。じゃあこれを進めていただくことによって、
0:13:34	こっちが懸念しているその保護層とか低透水層っていうのが、しっかり守れるような、その排水層がそこできるかどうかっていうのが、
0:13:44	はっきりするということになるっていうことで、はい。はい、わかりました。特に
0:13:51	王様に今、職制とかそういうのを置かない。これちょっと実は、
0:13:57	登録してもですね、これは前におっしゃらない配置だと思いますので、その十分考慮をした形にする、この行くんであればですね、ということだと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:11	ノグチでございます。今のその排水性につきましては、このEPDM2000 円ぐらいを、解説の計算の仕方を変えてございますので、それに基づいて我々、
0:14:22	平常時の研究が生産してるんじゃないかということを確認いたします。それから後の時にも確認いたしますけれどもこれはおそらく出納が上がってくると思われまので、その際のことを考えまして先ほど工事課から説明をさしていただいたんですけども、本来た状態でも、
0:14:38	安定性が保てるということ、解析にちょっと確認させていただきたいというふうに思います考え方で、金城西山です。
0:14:46	それからあと、今ほど須藤は踏みこんのご質問がございましたけれども、実際その店の設計を変えることにいまして、MPとかフィルターこれが国内発生で伺ってきますので、
0:14:59	そうしますと、大園瀬田が顧客の評価、それからその前に基づくと、敷地の方はかなり大きな広い、指示を必要となってまいりますのでその辺も考えましてですね、職制ということも変更して考えてございます。
0:15:15	そうお願いしてですね、どちらがいいのかっていう確認させていただいて、ご説明させていただきたいと思います。まずはですね
0:15:23	もちろんこれは説明をするのであれば変更住宅の方でご説明させていただくんですけども、ちょっと我々もその設計全体で考えた上で、1 学校にまた判断させていただきたいと思って質問以上でございます。
0:15:46	すいません。規制庁のスゴウです。いいですか。いいでしょう。
0:15:53	すいません。今お話あったのはそれとほぼ若干郷のところも、何て言うんでしょう。今ニュートラルな感じで今後の評価結果も踏まえて場合によっては、
0:16:11	その促成とかっていうのも考えられてるっていう理解でいいんですかね。
0:16:16	現在ノグチでございます通りでございます。
0:16:20	規制庁のスゴウで承知しました。
0:16:27	それからちょっと確認したのは、掘削抵抗性層の、変えるっていう話は、目視、その中の、
0:16:41	構造もそうなんですけど、ここの名称自体も、ようようはなくなるっていう理解でいいですかね。
0:16:49	掘削傾向外の最初の線量基準の話ところで、ちょっと我々のその掘削抵抗性品があるんじゃないかということで、主張するためにその行為をしてたんですけども。
0:16:59	今回は水面ということになるかと思いますので廃止するという名前に改めさせていただきたいと考えてございます。
0:17:07	規制庁のスゴウでは、そこは承知しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:11	おそらくというかこれまでの指摘とかも含めて
0:17:19	今検討されてて、ここ、ここも含めてなのかな。競争の
0:17:26	含めて、もしかしたらその全体的な設計とかも変わっていく可能性もあるのかなと思っ。
0:17:35	今ちょっと聞いてたんですけども、その場合に今後の進め方でちょっと冒頭、オオシマの方から我々から伝えたいことっていうふうになんかちょっと言ってたんですけども。
0:17:51	今、その前は去年は10月でしたか8月でしたかね、その提出いただいた審査資料に基づいて、その審査を進めてはいるんですけども。
0:18:05	ちょっと今年の4月にあった敦賀の2号炉の、同データの間違いとかの、その対応とかも含めて、やはりちょっと我々、何に基づいて審査するんかって言えば、
0:18:23	しっかりとその申請された内容に基づいて、その基準適合性の確認をしていくということで、今回
0:18:34	設計自体もう1回見直しの検討に入ってるっていうことであれば、
0:18:40	1枚目のスケジュールで順々に、審査資料提出していくっていうことを考えていらっしゃるかと思うんですけども、しっかりとそこは
0:18:53	補正っていう形で申請をしてもらって、それに基づいて、我々審査を進めていくべきかなというふうに思ってるんですけども、ちょっと補正について。
0:19:07	検討していただきたいんですけども、いかがでしょうか。
0:19:14	ふうん。ノグチでございます(2)の審査会合におきまして、途中で規則が変わったということでは例の補正申請をしなくてもよいというお話をいただいて今までの形をとってきた。
0:19:30	去年の状況でございます。今後もそのような形でやっていただけたらと我々も助かると思っていたんですけども、ちょっと例をすべてあんまり審査ができないとなると、
0:19:43	このスケジュールを見た通り、10月以降にようやくその設計の水質を出して、審査スタートという形になりますので、それだと出戻りが、
0:19:55	もしかしたらある可能性もありますので、
0:19:58	コアシー井いただけたら助かりますと。
0:20:02	以上でございます。
0:20:04	アの規制庁の島津補正はやってください。すいません。
0:20:10	うちの中でも、自身は補正を出させて、補正した申請書に基づき審査していくというふうになってると。こちらは今のす。
0:20:23	同じ説明と、今申請書と、乖離があるっていうか元の申請書と全然違うことやってますよね。じゃ、何に基づいて申請してるんだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:35	いったところは外部に指摘されると、全く立ってられないんですよね。それでいいんだったらもうちゃんと申請書ベースに審査してるんですというふうにしないと。
0:20:47	審査そのもののクレディビリティが疑われると、いうことになってますので、これし、補正はお願いできませんでしょうか。
0:20:57	業務部の小口でございます五味さんがちょっと持ち帰らせていただきまして、正式に整理をさせていただきたいと。はい。ありがとうございます。
0:21:06	養命酒製造の小橋です。汚染の件を持ち帰り検討するんですけど、この埋設施設に関して言いますと、非常に規則が変わって基準が変わってという中で、なかなか誰が持ってきたものが、
0:21:21	いろいろここをご覧いただいて、少しあれを見直さなきゃいけないところを行ったり来たりしてるところもありますので、言われたようなやり方の方は、
0:21:31	できればもう非常に進めやすいなと思っていたんですが、確かにご懸念する通りだと思いますので、こちらの方でも考えて、また少し何かこの基準の解釈等をもう一度確認するような方があれば、非常に我々もありがたいので、
0:21:46	これについても考えていただくと助かります。
0:21:48	基準は、規制庁の島津副院長の基準の解釈っていうのは審査と関係ないと、もし関係ないのであれば、行政相談という形でいつでもの、
0:22:01	意見交換ができますし、また審査に関係あるところであれば、それこそヒアリングの間でやってもいいですし、審査会合で、
0:22:10	議論してもすることも可能ですよ。
0:22:14	承知しております。ありがとうございます。
0:22:31	きちんとオオシマです。はい、いかがでしょうか。
0:22:36	規制庁の嶋ですちょっとさ、先ほどの質問、すぐ質問にも関連するところなんですけども、岩波さんがおっしゃられた
0:22:48	この調査役を職制に変えることも検討していくということをおっしゃられた。
0:22:53	そういう補正がじゃないとして、このスケジュールでいくと、その10月にはどちらにするかっていうのを判断されて、資料を提出するという。
0:23:05	考えていらっしたのかどうかを教えてください。二瓶郡司でございますちょっと試験をいろいろやっていてデータをとらなきゃいけない、入れてくればですね試験をどれぐらいかかるかっていうのがはつきり先と。
0:23:18	チャンスも重なってるんですがなかなか厚狭川上りまして、もう少しお待ちいただきたいんですが、おそらく10月ですと、間に合うかなというふうに思っています。
0:23:28	そうすると10月の時にはもうあくまで職制は、何て言うんすか、職制を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:37	に切り換えた設計ではないものが作ったJABの設計のものが出てくるってことなんですね。現在今西でございます。我々ちょっと最初の主立ってですねこれまでも若干ご説明させていただきたいと申し上げております。一部は8月の、
0:23:53	徐々にですね、地質説明したいと思っておりました。ただ、先ほどのように排水の設計を踏まえすと、高崎奥田氏、越川手嶋可能性があって、敷地の可能性がありますので、
0:24:05	そこを観点について30センチの循環運転を、植生がもう少し、BPRになりますと、植生層とそれからほぼ同数のところなんです、
0:24:17	年代ってのは、基準がございますので、それを最後の設計になるのかなと思ってますそこをちょっと総合的に判断したいと思っておりましたんで、それを決定するのがちょっと8月ではなくて、
0:24:29	おそらくこの後も、
0:24:32	10月のところでご説明するという形になるのかなというふうに思っておりました。
0:24:40	この予定の中にその職制にするのか、この0までいくのかっていうのは含まれているそうですね。そんなところの、10月以降、
0:24:50	ここではわかりましたはい、ありがとうございます。
0:24:56	出口でございます1点確認させていただきたいことがございまして、例えばその植生した場合、ちょっとあれ、今まで経験したのはその専門の状態が整備されたっていうのをしまして、
0:25:08	外部の方がすぐできないかと、そういう判断に至っておりました。耐食性3人ぐらいなんですけども、確かにその賛成年後にどうなってるって何か
0:25:18	に説明することは難しいかなと思ってますんで、できたとしてもこれは我々状態設定としてまず戦後の気象状況とか、
0:25:28	環境状況っていうのは、評価しておりますので、それに基づけば、ピンチで入ってるような、そういったものがその分が減るだろうと、そういう想定の方しかお示しすることはできないんですがそういう考え方っていうのを、
0:25:43	この進化というところをちょっとご確認させていただきたいんです。
0:25:50	いいんですね。
0:25:55	基本的にできることっていうことだと思います。またその
0:26:04	判定Langer先安孫子見込まれるのであればですね、それはもう抗議する必要あると思うんですけども、そう言ってるのは、日本が砂漠化するとかそういった、
0:26:15	まず、そういうことですね。それ予想はされないですよ。その基本等については調査してますので、それによりますと、そんなに大きな危惧を貴重品もないという

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ふうに考えてますよね。それが基づけばその状態が維持をやってやろうとする物件ですから。
0:26:33	FCでしょうか。ですから植生ということも重要に考えるかなというふうに思っています。
0:26:44	ありがとうございます。
0:26:47	確認だったら、1000年なんですかそれとも300年なんですか。
0:26:52	上坂さん、大橋です。まずはガイドにもありますように我々00という状態設定を行うというところですけど、芹沢の夏の19日に提出資料には、今の線量評価の中でもしバリア機能を喪失したら、
0:27:06	小倉伊井、真鍋商会設定を見込む必要があるのかというところは、300年でお示しさせていただきますので、あれは3%上がるんですが、
0:27:16	まぜる状態って思ってます。安全評価もそうであります。ただ、我々が見込みは本当に21時間は300円。
0:27:28	あと、支社長、山田財津と申しますのは、やはり折衷処分でかつ評価のカバーを持っていない。
0:27:39	こういう取り着というのは、そういう意味ではもう、
0:27:41	いろんな上達脆弱性を持つてるわけですよね。ピット処分だりする中深度処分焼酎と比べると、であるので、できるだけのことをすると言っても、やはり、
0:27:53	それちゃんと持つてるということは、認識、大前提として認識すべき話ですので、
0:28:00	その無視してや宣伝。
0:28:02	一番ねという話をするのではなくて、
0:28:05	やはり、どこまでの期間頑張ればいいんだということが、安定があった上で、その中で、できるだけ持つものを作りますということだと思いますので、
0:28:19	4倍は別に前年比を評価すると認めますと、そういうことではなくてですね、その一高城とか根底にあるのは、どこまでこの施設で持たせるつもりなのかということがあるんだと思っています。
0:28:40	ウエノ常務講師で書記ました。ありがとうございます。
0:28:56	規制庁ヤマダでございます。別の話よろしいんでしょうか。
0:29:02	一番のところに3点重要な検討事項として挙げられてるんだけど、2点目の低透水性覆土の施工の実現性のところですけども、これ。
0:29:12	今月ちゅうか来月初めぐらいには出てくるということを思ってよろしいんでしょうか。
0:29:20	消費税もコアシです5月30日にいただきましたコメントを踏まえてできる範囲の範囲のところで、反映したものを出したいと思っています。ただ、次ですねそこを確認したいと思ってる場所がありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:33	あと基礎工実現性のところでいろいろ管理の項目はわかってこの数字今日をきちんと書いて欲しいというようなコメントがあったかと思いますが、
0:29:44	なかなかまだ施行のこの会社にとか、施工保障法としてどういったものを取り入れるとか、或いは購入さをどういうふうなものを買ってくるかというところが、
0:29:54	まだ決まってない段階で、しっかりとしたデータを持って管理値を設定するというのが難しいものもいくつかあると思ってますんで。
0:30:02	今
0:30:04	そういうものが施工前にはそういったものを整備して管理して始めて、それを満たすことを我々考えているんですが。
0:30:12	今の段階でどこまでこの求められてるのかっていうのが少し疑問に思ってるところもあって、可能な限り書けるところを書くんですが、そうしましたら足りないと言われるかもしれないし、そういうことだけど、我々もその、
0:30:25	予算を決めて、施工方法の会社も決めてというところまで行かなければならないのか、ちょっとそこはもう、お聞きしたいと思ったんですが、いかがでしょうか。
0:30:36	支店長の飯山でございます。まず、もうこ施工の話を、
0:30:42	検討申し上げて、背景としましては、今、設計の案の中で出ている、低透水性舗装が10末上場メーターパーセク以下という、これが、
0:30:53	データ制の中で極めて重要な値になっていて、
0:30:59	通常様を、
0:31:04	一つです。他の1枚ずつ。そうすと、
0:31:10	処分場とかですね。そうすと、10月は地上であるとか、球場であるとか含めて、負けた低いわけですね。これがあるからこそ、想定の間グローブとかも含めて、
0:31:23	比率を止めているということであるんですけども。
0:31:28	何も全部、自分の社長とか何であるでいいかっていうと、ワーキング特性もあるんですが、
0:31:35	本日を含めて、その水をちゃんと流して、この前、中途推薦定数に相当するところに水がたまらないようにしてるんですよ。
0:31:45	やるから、そういうのもいいはずなのでその関係で、
0:31:51	今、ウエノ側がちゃんと働くよということを今されるということなんですけども、
0:31:58	それはもう、本当は事務長じゃなくてもいいかもしれないんですが、実はそこはうまくいかない、今重要というのを確実に守らないといけないことになってくるんだと、そういう関係にあるという、
0:32:09	そういう事務長的構想の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:12	いろいろな特性を管理しないと、確実に実現できると、簡単に実現できるとは言えないような場所にありますので、
0:32:24	オスバスも、何がその関連をするんだということですね、ちゃんと誰上げて、
0:32:33	実際に管理するのは、眉山材料ところで、
0:32:39	L/Dと思うんですけども、規則の関係はもうはっきりさせるべきだということだと思っています。
0:32:49	もう一つは
0:32:50	今、残業の話を自分自身されてると思うんですけども、重本の小さい材料でやりました。現業せません。
0:33:00	その中の材料の特性が、小規模試験と同じであったかどうかというのを確認するという、全然やられてると思うんですが。
0:33:10	このを積み上げて財務性能がどうかということ。
0:33:16	人の小さな規模との関係っていうのは、勝野明らかになってない。
0:33:22	と思っています。
0:33:26	湯田設計であればですね、そこに休日というのは可能かもしれないんですが、
0:33:35	実現不可能だとは思わないんですけども、難しいところでやってる感じしますので、そういったことも含めて、十分な説明ができるような、
0:33:48	10分必要だと思って。
0:33:51	ではご苦労も申しあげました。
0:33:53	そのあたりをですねもう、
0:33:57	自分よく考えて御説明を持ってこられるつもりされていないとですね、
0:34:03	出してもらってまたいや、違うと言われてっていうその手戻り感があると思いますので、そこをよく問題意識を共有して、進めるといいかなと思います。
0:34:17	柳下%施設はございますので、そこはまさに我々も懸念しているところで、
0:34:25	ちょっとお伺いしたヤマダの中で今我々が定義してるデータではまだ足りないものがあるとお考えなのか、それともデータを十分だけ後でばらつきの種類をちゃんと整理して全体でどういう考えを持って、
0:34:38	管理していくのかというのをきちんと説明して欲しいということなのか、その辺についてはいかがでしょうか。
0:34:45	前回イリエもその後出席をしておりますので、もう少し分のこちらの方が確認する必要があるとは思っておりますが、
0:34:54	一つは、
0:34:55	処理の問題。
0:34:57	もう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:59	まず、
0:35:02	常務パラメーター
0:35:06	可能性は残念な通りで、違う、何かという特定がですね、不十分な面あるんじゃないかなと思っているところがあるということとそれから、
0:35:17	小規模なスケールのもと、その実、
0:35:23	デザインですね、事の関係というのは、実はあまり示されていない。
0:35:30	こういうふうに思っております。
0:35:34	大江正田さんのご質問ありがとうございます。少しそういったご意見を踏まえながら、我々の方で考えてると思いますと最後には多少希望と実規模っていうのは、我々、
0:35:46	この小規模でしか試験ができてない、言ってもそこしか持ってないというところで、秋月はどうなんですか。まさにそこが、よく我々管理値として、
0:35:57	示せないようなところかなと思うんですけど、その関係性をしっかりと整理し説明すれば良いというふうに、教育のあたりの既存の実績のこの各社のデータを始めてきて、
0:36:10	そっから説明して欲しいということと、
0:36:15	秋山でございます。こういった値を絞らないといけないところだと思います一部試験っていうのは相当難しい。
0:36:25	いや、水やらなくていいのかっていうことではなくてですね、夜中試験じゃなくてもいいんですが、
0:36:33	そこをつなぐことが必要な、小規模と実業が同じと考えましたということではやはり成り立たないと思いますので、ちょっとその商業と技術規模が、何が違う要因であって、
0:36:47	その要因が、どのくらい交流する必要があるのかであるとか、
0:36:53	本来であればその、
0:36:55	材料の管理の中で吸収できるのかどうかですね、いうこと。
0:37:01	必要があると思います。
0:37:04	吉浦さん、林ですありがとうございます。打越安保の議論のところをクリアになってもらっております。ありがとうございます。
0:37:36	オオシマですから、どっかを一緒に、先ほどのマージャン方にするか職員するかっていうところの経緯を考えて、こうすればいいのかっていうところは今後検討いただくということなんですけども。
0:37:52	このようなスケジュールの中で浸透流解析を事前に行っていく形になるかと思うんですけども社さんの設計を変えたりとかっていう場合には、ここ笹倉の方にも上げ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てくる話になるかと思えますけどもそれと並行して検討していくというような、そういう、
0:38:08	イメージをしてるんですけども、最終的なそのどちらにするか、自分のシートで直接するってなった場合にはそこからまたさらに、
0:38:17	生活圏と言うような形でしんどい解析であるとかそういうような形なのか、あとはそれはいかがでしょうか。減少%コアシです。この新開先生はずっと聞いているのは、もうすでに皆様からコメントいただいている点で、
0:38:30	非定常解析でやる必要があると思ってまして、そういった検討を引き続き進める、ただ、最終的に出す結果というのは、我々も見直した設計の結果ですので、まず安部丸井は植生または排水性を強化して、こういった形で、
0:38:46	解析を示すということを考えてください。
0:38:49	わかりました。大丈夫です。
0:39:05	ちなみに、
0:39:09	それはやっていただくと思ってるんですけども、初生をやるとすると、
0:39:14	相当時間がかかっちゃう。
0:39:17	例えば半年とか1年とか、
0:39:19	というそんなレベルなんです。
0:39:22	営業運転をしてもおそらくそれぐらいかかるかと思えます。
0:39:27	わかりました。
0:39:45	ですのでちょっと社内的にも、どれだけかかるのかっていうのも検討の上、ご回答をお願いいたします。
0:40:42	市橋深尾規制庁の細田でございます。ちょっとさっきネット設計のところ、ウエノその若干後で説明していくのか、それとパラで職制に変えることも一応オプションとしてはある。
0:40:54	いうふうになったんですけども、先ほどの議論にありますように例えばその施工実現性の話であれば、今表面に入って、降った水は基本的に排水側で閉めてきてしまって、その低透水性覆土の表面でこんなことでそこから下にしないようにするっていう設計になっているので、
0:41:13	その小規模でやった月10のマイナス10メートル/secの程度です。その投資係数が、実規模でちゃんと実現できるのかどうかってところは、かなり先ほど山名が申し上げました通りかなり
0:41:26	違うと思っている反面、
0:41:29	その表面植生を飛ばして表現でもらう捌けますという設計にすればそこはそこまで強力に進めなくても、ポストの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:38	何ていうんすかね。
0:41:39	変えてきたじゃないですけどそのテーブルが変わってくると思うんですよね。浸透流解析のところも先ほどの規定上でやるという観点で、
0:41:46	やられてるというんですけども、それは、いわゆるその解析の前提条件聞いたところ、対象校のところであって、
0:41:55	もう、
0:41:59	そうですね。行動するか、そういったところもいろいろ変わってきますよねその職制にしたときに、そうした時にこの若干までこうずっと議論を進めていって、職制にしますって言った時に、
0:42:11	まず、施工実現性の話は浸透流解析に入ってくると思うんですよね。そういう何て言いますか。木山委員からもすごいん。
0:42:19	或いは、感じになると思いますし、我々もそう感じますし。
0:42:24	ちょっとそこはですね、その検討の順番というのは、何考えた方がいいのかなっていう感じはしました。減少が0%でさようでございます。そういったことも踏まえて我々オプションとしては、並行して検討はしております。
0:42:43	わざわざ書くことは考えてないんですが。
0:42:46	アメリカまでにならないって、並行して進めるってことは、いやそうですね。
0:43:03	営業課長の河内です。もしよろしければもうちょっとお聞きしたいことがあって、思います。少し細かい話になってしまうんですけど、施工の品質管理のところでは駄目。巨視的統制件数で、
0:43:17	これ全体の体積的なばらつきを評価する手法についてということ、説明させていただいております。それは現地でサンプルを取るか取らないかという問題なんですけど、今方法として考えているのは、例えば、
0:43:30	大平主務、古賀永島になるんですけど、乾燥密度をはかって、ある程度点数を多く集めて、全体的にはその松木を考えると、そういう説明の中で考えていたんですが、ただ、ここもですね、やっぱりその、
0:43:45	今データがないので、なかなか超勤が難しいところがあって、先ほどの質問にも関連するんですけど、必ずしもこの、
0:43:54	データを示して、
0:43:56	すべてを説明してくれということをもとめてるのか、それとも、
0:44:00	ある程度考え方というのを、現状の知見に沿って説明して欲しいということなのかっていうと、それは、
0:44:07	どっちなのでしょう。
0:44:15	うまく管理課も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:19	技術課に当たるような範囲と、この新沢フジワラ入ってるなっていうんですが。うん。基本的に実は密接管理を、すぐの自然のところでやるんだけど、
0:44:33	そこで行って
0:44:37	伊奈ですね、千葉さんの住所作りますっていう、それで審査するわけじゃなくて、それが実際にできるかの実現性であるとか、それが管理できるが、
0:44:48	妥当性っていうかね、そういったものを目で見るとというのがこの審査は思ってるんですが、そこは、
0:44:55	そういうことで、そういうことでもいいです。結局エネルギーは問題になっちゃってますけど。
0:45:05	何て言うんですか、この
0:45:07	その施設確認でやる話も、
0:45:12	審査の中でやっておかないと、結局、そこでスタックしちゃうんですよ。
0:45:18	うん。整数確認ができません。
0:45:22	合格出せません。
0:45:25	そうすると、やはり私は審査の中で、しっかり認め、
0:45:31	置いてやった方がいいと思います。
0:45:37	よろしゅうございますそうしますと、先ほどもちょっとコアシから申し上げたんですけども、しっかりと詳細設計まで持って、物がこれを使いますっていう方も、
0:45:48	その試験データも全部そろっていくとそういう状態じゃないとなかなか説明が難しくなるような気がするんですけども、そそれは内藤の審査を築けないそういうふうに、受け付けないことはないんですけど、もうどうしても結局どっかで、施設確認のところで止まっちゃいますよ。
0:46:05	ということなんで、施設スタッフのところで、ご確認いただくのかなっていうふうに我々ちょっと思ってたんですけども、そこは違うんでしょうか。
0:46:28	もうCBC澤もう通しておいて施設確認の方で、スタックしてもいいっていうようなお考えっていうことなんですけど浮田さんは受託してる人は思っていないんですけど我々、今の段階で雇用できるデータっていうのは限られておまして、
0:46:45	木崎なんてR&Dたでございまして、今ちょっと我々はもう本当に傾向は掴めるといふふうに考えておましてそれを説明させていただいてると。
0:46:55	これではもう不足というお話になるか。
0:46:59	今のままでいい、そのまとめ方はどちらかという。
0:47:11	正直どっちに寄せることも可能で、審査の方に寄せておけば、当然、施設確認の時に楽になりますよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:22	審査の特許の方でやらないとやいくと、施設確認の時に大変なりますよっていう、そこだけなんですよね。それから、どこまでやれば、小さなコウカクカっていうのはそこ基準で示されてないんで。
0:47:40	現在でも会社とその詳細設計をしないとパソコンをうまく見てたっていうかそんな強いことができないと思って欲しいので、これはそのまま。
0:47:51	写真撮ってるんですよね。
0:47:56	ちょっと埋設は施工人がないんです。そうなんです。使用前確認検査が施設確認になっちゃってるってところがあるんです。あるんで、ちょっとそこは、
0:48:10	どこ、ご相談ですね。はい。
0:48:13	すみません。成瀬です。事前にデータをたくさん用意すると、難しいところがありまして、将来に、
0:48:21	発注する時に全く同じものがこういうできるかっていうそこはわからないところがありますんで。うん。
0:48:26	それを考えますと、今のデータでご説明をさせていただいて、施設部の方で、厳密に1個見ていただくっていうのがよろしいかと思えます。それが我々の最終覆土というものをそこから先も、
0:48:39	先行するものですから、その先の話ではないので、そこをちょっとご配慮いただけたらというふうに思っています。はい、わかりました。
0:48:56	規制庁と私は本当、
0:49:01	おっしゃるように、1000 使う材料ですね、ロットが違ったり、その3割増っていうちょっとっていうのはあるんだと思うんですけども。
0:49:10	それを実際俯瞰的に下の図、
0:49:14	こういうところのデータを取ってこういう示しますというのを、今野さんに声を使うとしたら、こうやってこういうところを使ってこれ示しましたっていうのが、同じであれば多分いいんだと思うんです。
0:49:27	辰巳さんでも1回同じことをやって、これについては積み上げてこうやりました。
0:49:33	それが、今まだもやっとしておいて、後段で一緒に決まってから、詳しくやりますって言ってるんですね、そのやり方も含めて、まとめるということになると思うので、
0:49:48	いやあ、それはそうですね。
0:49:53	どこまでやるかという。
0:49:59	四分の1でございますが、ちょっと今日すぐ回答なんですけども、そういったケースはおそらく規制の、管理課っていうか、どういう方向をすればいいかという話になりますので、一部考え方を整理してご相談させていただくということは可能でしょうか。そんな考え。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:19	面談でやってもいいですし、センサーの数字をすれば審査会合で、普通の精米でもよろしい。
0:50:37	幹部との間関係でいくと、誓いの審査会合は補正をベースにしないとできません。
0:50:45	補正補正が出てからやれと。
0:50:49	いうふうになってるので、
0:50:51	今の話でも、
0:50:53	多分柴さん。そうしますと、いずれにした後にまた考え方が違うということで発生する気がするんですけど、なのでいや、まずは、補正と切り離して、面談で、
0:51:07	やれるベースでやるしかないと思ってます。そうですね。ただポロンテンが、やはり面談でやるべき話というよりは、公開会合でやるべき話になってくると思うんで。
0:51:21	それは補正と切り離して、審査会合でできるかどうかって言うのを、ちょっと看護とも相談してみたいと思います。ただ、この審査を進めていくという意味においてはもう補正をしないと、審査を進めさせない。
0:51:37	っていう、
0:51:38	要は、
0:51:39	外間さんから言われてるんで、
0:51:42	はい。
0:51:44	失礼いたしました。はい。
0:52:20	規制庁の島別所。
0:52:23	よろしいですかね。
0:52:29	規制庁の比嘉でございます。これはちょうど購買部のイリエにも入ってもらいましたのでちょっと施工管理関係で、前回ちょっといろいろコメントしたかと思えます。もし
0:52:39	衛藤コメントの趣旨がわからないとかですね、何かあれば、この場で確認していただければと思います。
0:52:50	江頭谷岡氏です先ほど番場の改定をしていただいたと思いますので、
0:52:56	承知しておりませんで細かいところにちょっと、
0:53:00	本社の方から何かありますかね。
0:53:11	あ、日本原子力発電のハウチンです。こちらの方からは先ほど回答いただいたところを踏まえて今後検討を行うと思っておりますので、特に追加の質問ございません。
0:53:25	規制庁の青島です。挙手そうしましたら全体通して何か、最後に確認事項等、
0:53:33	特にないということでよろしいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:36	現在のハママツですけど、補正するかどうかってのは、援護連絡っていつまでにとかっていう基準ってあるんですかね。
0:53:46	衛藤区長の島です。それはありません。ただその回答をいただかないと審査は進みませんということになります。わかりました。ありがとうございます。なので御社も早く進めたいと思いますので、
0:54:02	そうするとその以降を組むと、早くということになります。承知いたしました。
0:54:13	規制庁の瀬間です。そうしましたらちょっと本日、補正等々のコメントさせていただきましたので、そちら検討いただいてご連絡いただければと思います。
0:54:25	負傷しました本日のヒアリング以上で終わりにしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。